



三珠中学校校長室だより
令和7年12月1日発行
No.34
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちら！



家庭学習をリニューアルします

先週末に2学期末テストが終わり、本日は到達度復習確認テストが終わって、ほっとしている人も多いことでしょう。受検の迫る3年生も今日ばかりは一息つきたい心境ではないでしょうか？そんなみなさんがほっとしているこのタイミングで家庭学習をリニューアルしたいと思います。▼**リニューアルの目的は**、今年7月のPTAだよりで述べた通り、『**やりがいのある家庭学習を目指すこと**』です。私は月に2・3回ほどではありますが、各学年の家庭学習を見る機会があります。各学年の家庭学習の様子を見て『**良い勉強をしているな**』と感心するものもあれば、『**この勉強で力がつくのかな？**』と疑問に思うものもあります。さらには『**提出さえもしない人**』も少なからず見られ、例年冬に行っている学校評価の「家庭学習」についての項目の肯定的な回答の割合が低いのもうなずけます。▼そこで、**校内研究会の中で**、

『**どういった家庭学習にすれば、生徒の学力が伸びるのか**』について議論を重ねてきました。議論のポイントは2つです。1つは『**学ぶことの楽しみの実感**』や『**分かるって楽しい**』という**ことをいかに生徒たちに感じさせられるか**です。2つめは、提出さえしようとしないうちに『**やるべきことをやりきる責任感をいかに身につけさせるか**』でした。そして今回、次のような提案をすることにしました。▼新しい家庭学習では、『**①自分に合ったコースを選ぶ**』『**②モチベーションを上げる仕掛け**』の2つにこだわり考えてみました。はじめに『**①自分に合ったコースを選ぶ**』についての説明をします。▼新しい家庭学習ではみなさんは、1週間ごとに次のA～Eコースのどれか1つを選んで、コースごとに決められた「家庭学習の提出(表の一番右の欄)」の通りに提出してもらいます。コースの内容を見てもらえば分

かるように、これまでの家庭学習で成果をあげている人は、『Dコース』を選べば、これまで通りの学習ができます。しかし、これまでの家庭学習に充実感をもてていない人はA～Cのいずれかを選ぶと良いでしょう。▼また、中間テスト・期末テスト前は各教科の学習や提出物に取り組みば目一杯になってしまうでしょう。そこで**定期テストの取組表を配付した日からテストが終了する日の前日までは、全員がEコースに取り組む**ことにしました。この期間内に提出物をすべてやりきってしまった人は、2周目、3周目、……と何度もやり直す学習もOKとします(むしろ、その学習方法を推奨します)。▼**Aコースは『ふるさと探求コース』**です。これまでの町内めぐりや県内めぐりなどを通して学習したふるさと「市川三郷町」や「山梨県」の産業、農業、文化、自然、出身者、ゆかりの人物などを深掘りしてレポートにまとめて、その素晴らしさを他の人に紹介してみませんか。レポートの作成は手がきでもPC等のICT機器の利用でも、どちらでも構いません。このコースを選んだ人は1週間で1枚のレポートを仕上げるのがノルマとなります。▼**Bコースは『教科探求コース』**です。基本はAコースと同じく1週間で1枚のレポートを作成します。Aコースとの違いはレポートの内容です。Aコースが「ふるさとに関わることに限定」なのに対して、Bコースは教科に関係していれば何でもOKという点です。教科は5教科に限らず音楽や美術、保健体育、技術家庭なども良しとします。ちょっと強引ですが「大谷翔平選手について」なども「保健体育」の探求として認めます。道徳や総合的な学習の時間に関わることももちろんOKなので、総合で行ったボランティア関連で手話について探求したり、進路学習などについての深掘りも良いと思います。▼**Cコースは『基礎徹底コース』**です。このコースは、国・社・数・理・英の5教科の中から
(裏面に続く)

コース	コース名	内 容	家庭学習の提出
A	ふるさと探求コース	三珠・市川三郷町・山梨県に関わることで何か調べてみたいことを1つ見つけて、それについての成果物(別紙参照)を1枚作る。	1週間以内に1枚の成果物を提出する(校内掲示する)。
B	教科探求コース	教科(国・社・数・英・理・音・保体・美・技家・道・総)に関わることで何か調べてみたいことを1つ見つけて、成果物1枚作成。	1週間以内に1枚の成果物を提出する(校内掲示する)。
C	基礎徹底コース	国・社・数・理・英の各教科ごと週のテーマが決められるので、その中から1つの教科を選び、テーマに沿った学習を行う。	教科で与えられたプリントを毎日提出する。
D	自主自律コース	自分で1週間のテーマを決め、そのテーマに沿って、自分でやる内容を決める。『とにかく、この1週間は●●●を頑張りたい!』という人におすすめ。学習量は1日30分以上。	学習した内容を毎日提出する。
E	テスト前限定コース	テスト対策となる内容を自由に選んで学習する。各教科の提出物でもOK。提出するページ数も特に定めないが30分以上は学習する。	学習した内容を毎日提出する。

どれか1教科を選び、1週間その教科に関する基礎を徹底的に学習します。事前に各教科ごとの週の学年別テーマを発表するので、それを見て、やってみたい内容がある人は積極的にCコースを選んでみましょう。2・3年生が1・2年のテーマを選んでも問題ありません(むしろ復習したい人は積極的に選びましょう)。なお、課題はすべてこちらで用意するので、各テーマごとに指定された1日分の課題を行って提出してください。答合わせが必要な課題の場合は答えも配りますので、自分で答合わせをし、間違え直しまで行いましょう。解答を見てもよく分からない人や正解にたどり着けない人は「HELP欄」に印をつけて提出してください。適当な時間を見計らって先生が解説を行います。ちなみに第1週目(12/4～12/10)のテーマは下表の通りです。

教科	12/4～12/10・各教科の週のテーマ		
学年	1年	2年	3年
国語	小学校高学年で学習する漢字		
社会	只 今	調 整	中
数学	基本的な計算問題(小学校・中1範囲)		
英語	只 今	調 整	中
理科	只 今	調 整	中

※Cコースのテーマは校長室前掲示板に張り出します。

▼家庭学習とは別に申告用紙(別紙参照)を配付するので、家庭学習の提出の有無に関わらず申告用紙は必ず提出してください。▼次に『モチベーションを上げる仕掛け』についての説明をします。これは前述したように「毎日出すことになっているはずの家庭学習を提出さえしない人を何とかなくしたい」という思いから、みなさんが『出すぞ!』とか『出さなくては……』と思うような方法を考えてみました。▼『Ⅰ：学習は団体戦～みんなで家庭学習を提出して全校レクをしよう!～』以下のルールに従って、『全校レク』をすることを目指します。◇1日分の家庭学習をきちんと出せた人、1人につき「2秒」の全校レクタイムを与え、秒数の累計が全校で「60秒×50＝3,000秒」貯まったら、生徒会本部とタイアップして1時間(50分間)の全校レクを行います。◇C・D・Eコースを選んだ場合、休み明けには日数分のレクタイムを与えます(例えば月曜日なら、金・土・日の家庭学習がきちんとやれば6秒与えます)。◇A・Bコースを選んだ場合、成果物(レポート)を提出した日に14秒のレクタイムを与えます。◇C・D・Eコースの人が正当な理由なく提出できなかった場合は1人につき「マイナス2秒」とします(月曜日に金・土・日分全減ならばマイナス6秒)。A・Bコースの人が提出期限日に提出できなかった場合は「マイナス14秒」となります。◇未提出だった日の分の家庭学習を後からやり、提出した場合は、その日数分のレクタイムを与えます(挽回可能)。◇申告用紙を提出できなかった場合は曜日に関係なく1日につき「マイナス5秒」とします。申告用紙は次の日に出してもマイナ

ナスは挽回できませんので気をつけてください。◇貯まったレクタイムの状況は随時、校長室前の『レクメーター』で見える化する予定です。※このレクはもともと生徒会本部で計画していたレクとは別に行います。▼『Ⅱ：家庭学習を提出して、お楽しみ抽選会に参加しよう!』以下のルールに従って行います。「Ⅰ」で個人で獲得したレクタイム10秒ごとに1枚の「お楽しみ抽選券」を渡します。◇自分の獲得したレクタイムは申告用紙を見れば分かるようになっています。◇お楽しみ抽選会は、3学期、3年生の卒業前に行います。景品等の準備はすべて私が行います。▼『Ⅲ：有給制度』将来、組織で労働する場合、一般的に取得可能な「有休」を家庭学習にも認める制度を以下のルールに従って定めます。◇申告用紙1枚(3週間)につき1日、好きな日に「有休(家庭学習をやらなくてもやったことにできる日)」を取得することができます。◇有休を取得した日にもレクタイム2秒がもらえます。申告用紙の最終日までに使われなかった有休は、次の期間に持ち越すか、有休を取れるにも関わらず家庭学習を頑張った気概を称えて、「有休1日⇒レクタイム10秒＝抽選券1枚」と交換することができます。▼以上が家庭学習のリニューアルについての説明になります。モチベーションを上げる方法Ⅰでは、ここまで生徒会が取り組み、育ててくれた三珠中の∞(輪)によって、楽しい目標を掲げながら、提出できない人をなくせるような取組を考えました。順調にレクタイムが貯まれば、早ければ1月中に3,000秒は貯まるはず。みんなで声をかけ合いながら、レクタイムを積み重ねていけたら嬉しく思います。▼家庭学習は自分のために行うことであって、ⅠやⅡの方法の様に、何かをえさにしてやらせるのは邪道と言えるのかも知れませんが、今回の方法には次のような強い思いがあります。常々、私は「ここ三珠中学校に集う者全員が家族の様な関係になってほしい」と言い続けてきました。生徒・職員合わせて70名近くの大家族であることを言い訳に、これまで家庭的なイベントをしてこられませんでした。そこで今回は、「家庭学習をすることによって、各自がささやかな楽しみをもてる」ような企画を考えてみました。▼Ⅲの「有休制度」については、仕事に就く人に有休があるように「学生の仕事である勉強にも有休があっても良いのではないか?」という考え方から導入を決めました。世の労働者は毎日働き続ける中で心身ともに疲労を蓄積させています。有休には、疲労を回復させ、労働者をリフレッシュさせることで仕事への集中力やモチベーションが向上し、結果として仕事の質や生産性を高める効果があります。「中学生だって毎日の学校生活で疲労が蓄積しているはずだ…」と考え、この制度を導入することにしました。なお、体調不良等で家庭学習ができなかったときには有休を使う必要はありません。

《今後の予定》

12/1(月)申告用紙配付 ～12/3(水)コース決定
12/4(木)～12/23(火) 新・家庭学習実施

三珠中学校・家庭学習申告用紙 Season1

() 年 氏名



注意事項

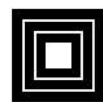
- ①家庭学習ができた・できなかったに関わらず、申告用紙は毎日、必ず提出する。正当な理由のない未提出者はレクタイムがマイナス2秒となります。
- ②学習内容の欄は、その日に行ったものを選択し、☒する。
- ③★印は、A・Bコースを選んだ者の成果物提出締切日。
- ④⑤の日には次週のコースをこの用紙に記入する。
- ⑤HELP欄には、家庭学習で困っていることがある人や相談がある人が☒する。※時間を見計らって先生から声をかけます。
- ⑥毎Season、有休が1日付与される。レクタイム10秒獲得ごとにお楽しみ抽選券を付与する。

※12月4日時点で所有している有休日数 (1)

第1週	12月 4日(木)	12月 5日(金)	12月 6日(土)	12月 7日(日)	12月 8日(月)	◎12月9日(火)	★12月10日(水)	今週のコース	
担当者検印								A～Eのアルファベットを記入	
学習内容	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	備考
	学習時間							Cコースの人は教科	
	HELP欄							Dコースの人はその	
	*レクタイム累計							週のテーマを記入	
第2週	12月11日(木)	12月12日(金)	12月13日(土)	12月14日(日)	12月15日(月)	◎12月16日(火)	★12月17日(水)	今週のコース	
担当者検印									
学習内容	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	備考
	学習時間								
	HELP欄								
	*レクタイム累計								
第3週	12月18日(木)	12月19日(金)	12月20日(土)	12月21日(日)	12月22日(月)	★12月23日(火)		今週のコース	
担当者検印									
学習内容	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	<input type="checkbox"/> コースの内容 <input type="checkbox"/> テストに向けて <input type="checkbox"/> 有休 <input type="checkbox"/> できなかった 時間 分 秒	備考
	学習時間								
	HELP欄								
	*レクタイム累計								

＊印・レクタイムの欄は、教師が記入します。

テーマ 歌舞伎発祥の地・三珠



作成期間 令和7年11月27日～12月 3日

作成者

年 氏名

渡邊 康裕

我らのふるさと「市川三郷町上野」が歌舞伎の大スターである市川團十郎さんのご先祖さまがいた場所、つまり「発祥の地」と言われのには、戦国時代にまでさかのぼる深い理由があります。

■市川團十郎さんのご先祖様の物語

市川團十郎さんの家（堀越家）のご先祖様は、この上野地区に住んでいた武士でした。

◎ご先祖様は武田信玄の家来だった

今から450年程前の戦国時代、市川團十郎さんの先祖にあたる堀越十郎家宣（ほりこしじゅうろういえのぶ）という人がいました。家宣は、言わずと知れた名武将「武田信玄」の家来として、この辺りで活躍していました。

◎上野地区に土地をもらった

家宣は、その活躍が認められて、今の市川三郷町上野地区の「ほっこし」という場所に土地をもらいました。この上野の「ほっこし」こそ、今の歌舞伎文化資料館がある場所です。そして、この土地が市川團十郎さんの家系が始まった場所だと考えられているのです。

■なぜ今、『発祥の地』に？

江戸時代になって、家宣の子孫が江戸に出て歌舞伎役者となり、初代・市川團十郎として大人気になりました。初代・團十郎は右のイラストの様に、顔に隈取りをして、台詞を大きな声で誇張して言うスタイルの歌舞伎を始めたことで大人気となり、江戸の歌舞伎と言えば團十郎と言われるくらいの大スターになりました。今でいうと吉沢亮さん・横浜流星さん・山崎賢人さんくらいかそれ以上に人気だったようです。



◎偉大な家を大切にしたい

代々の市川團十郎さんたちは、『私のルーツは山梨の上野だ』ということをやっと大切に思っていました。特に12代目團十郎さん（今の團十郎さんのお父さん）の時に、「発祥の地を記念する碑を建てたい」という願いが叶い、上野地区・歌舞伎文化公園内に『市川團十郎発祥之地』の大きな石碑が建てられました。

このような経緯から、市川三郷町上野地区は「歌舞伎界で一番と言われる家柄である初代・市川團十郎のずっとずっと前のご先祖様が住んでいた大切な場所」として知られているのです。

歌舞伎をテーマにした映画『国宝』の大ヒットで注目を浴びている「歌舞伎」。『歌舞伎ブームの到来を三珠地区の発展につなげることができたら……』とこのレポートを作成して思いました。



作成期間 令和7年 11月 27日～12月 3日

作成者

年 氏名 渡邊 康裕

★0.9999... と 1 どっちが大きい？

上の質問をすればほとんどの人は「1の方がちょっとだけ大きい」と答えると思いますが実はそうではありません。正解は「大きさは同じ」なのです。「納得できない！」という声が聞こえてきそうなので説明をしてみます。

① $0.9999\ldots = 0.3333\ldots \times 3$ ですね。

② $0.3333\ldots = \frac{1}{3}$ これも $\frac{1}{3} = 1 \div 3$ を計算すれば明らかに正しいですね。

以上より上の2つの式の で囲まれた数はすべて等しいことになるので

①の式の $0.3333\ldots$ の部分に $\frac{1}{3}$ と代入すると、

$$0.9999\ldots = \frac{1}{3} \times 3 = 1 \quad \text{となります。}$$

つまり $0.9999\ldots$ と 1 が $=$ だったのです。よって

$$0.9999\ldots = 1$$

なのです！

★不思議な数 142857

次に不思議で面白い数を紹介します。それが「142857」です。どんな風に面白いのかと言うと、

$$\begin{array}{l} \textcircled{1} 142857 \times 1 = 142857 \\ \textcircled{2} 142857 \times 2 = 285714 \\ \textcircled{3} 142857 \times 3 = 428571 \\ \textcircled{4} 142857 \times 4 = 571428 \\ \textcircled{5} 142857 \times 5 = 714285 \\ \textcircled{6} 142857 \times 6 = 857142 \\ \textcircled{7} 142857 \times 7 = 999999 \end{array}$$

142857 に 1 から 6 を順にかけていくと、「1・4・2・8・5・7」の並び順はそのままにこの6つの数で構成された数が積となります。そして、7 をかけるとその積にはきれいに9が6つ並ぶのです。

何故そうなるのか？ それはある特別な分数と関係しているからです。

その特別な分数とは ずばり $\frac{1}{7}$ です！ $1 \div 7 = 0.142857142857142857142\ldots$

となり、「142857」という数字の並びがずっと繰り返される循環小数と言われる小数になります。

142857 に 1 から 6 までの数をかけることは実は $\frac{1}{7}$ に 1 から 6 までの数をかけることと同じようなことが起こっていて

$$\frac{2}{7} = 0.285714285714\ldots \quad \frac{5}{7} = 0.714285714285\ldots$$

$$\frac{3}{7} = 0.428571428571\ldots \quad \frac{6}{7} = 0.857142857142\ldots$$

$$\frac{4}{7} = 0.571428571428\ldots \quad \text{となります。}$$

そして $\frac{1}{7}$ に 7 をかけると上の⑦の式から

$$\frac{7}{7} = 0.999999999999\ldots \quad \text{となることが分かります。}$$

これは「0.9999... と 1 どっちが大きい？」から分る様に 1 と同じ大きさなので $\frac{7}{7} = 1$ と納得の結果となります。(終)

Aコース テーマ

作成期間	令和7年	月	日～	月	日	作成者	年	氏名
------	------	---	----	---	---	-----	---	----

Bコース テーマ					教科	
作成期間		令和7年	月	日～	月	日
作成者		年 氏名				
<div></div>						

<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0001</p>  <p>抽選券</p>	<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0002</p>  <p>抽選券</p>
<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0003</p>  <p>抽選券</p>	<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0004</p>  <p>抽選券</p>
<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0005</p>  <p>抽選券</p>	<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0006</p>  <p>抽選券</p>
<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0007</p>  <p>抽選券</p>	<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0008</p>  <p>抽選券</p>
<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0009</p>  <p>抽選券</p>	<p>三珠中学校 お楽しみ抽選会 0010</p>  <p>抽選券</p>